



政和クラブ
福本貴久 議員

政和クラブの 予算要望の反映は

貴重な要望と捉え予算編成の参考に

女性キャリアアップ 研修などを予算化

問 平成27年度予算編成方針の「行政改革の精神の基、政策の効率、能率化につながるものがあれば、積極的に提案されたい。」とあるがその内容は。

答 総務部長 新年度より、女性がリーダーとして求められる役割や後輩の指導育成、マネジメント能力の向上と職場活性化を目指した「女性キャリアアップ研修」と、行政が出す文書の硬くてわかりにくいといった印象の改善、色弱の方も含め、誰にでもわかりやすい文章作成の知識や技術を学ぶ「ユニバーサルデザイン研修」を実施する。

また、機構改革により保険医療課、住民窓口課を新設する。「住民サービスの向上」として、事務手続きの簡素化、窓口サービスの向上を効率的・効果的に取り組む。
職員ひとり一人が社会経

済や地域環境の変化に常に関心を持ち、住民サービスの向上と健全財政運営の両立を図るため、柔軟かつ合理的に対応していく必要があると考えている。

各般に渡り参考にした 政和クラブ予算要望

問 平成26年11月4日、町長宛に提出した「政和クラブ予算要望」の中で、平成27年度予算に反映された項目は。

答 総務部長 防災交通課では、防犯灯設置促進に関して、500万円の増額にて防犯灯LED化を促進する。また、AED配備の促進に関して、砂川会館、高齢者生きがいセンター、大足老人憩いの家に設置する。

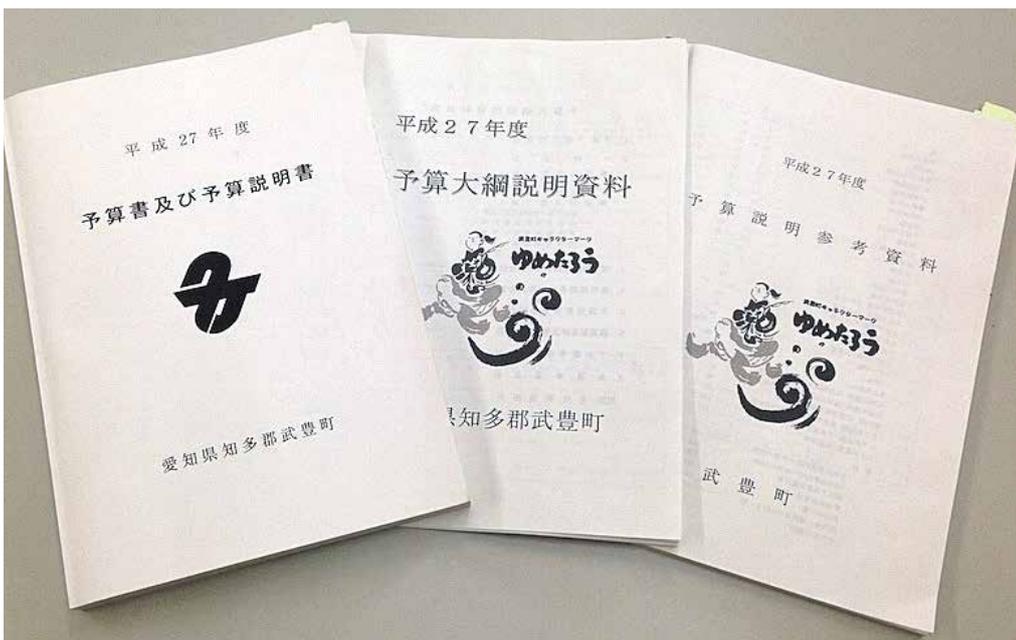
環境課では、リサイクルセンター事業の早期実現に関して、武豊エコステーション内に平成26年度に試行したリユースステーションを常設する。
都市計画課では、都市公

園の整備に関し、祠峯公園をワークショップでの意見を集約し計画的に整備をする。

総合体育館では、総合体育館の駐車場拡大に関し、体育館北側の休耕田を借地

し、40台程度の駐車場を確保することとした。

政和クラブの予算要望は、各般に渡る貴重な意見、要望と捉え、町財政の健全性の維持を前提に予算編成の参考にした。



■平成27年度予算 第5次総合計画の具現化として、将来のまちづくりに



きずな
佐伯 隆彦 議員

地方創生は リニア交流圏を視野に

リニア・空港の相乗効果に乗る

地方創生「まち、ひと、しごとと創生長期ビジョン策定」は、平成39年度のリニア開業で首都圏から中京圏におよぶ範囲で人口5000万人規模の巨大な大交流圏が誕生することを含めて考えることが重要である。

問 この圏内で当町が確固たる存在感を示すためには、駅の整備やセントレア第二滑走路の整備などが課題ではないか。

答 町長 リニア中央新幹線の開業により、数百kmという距離の壁がなくなり、経済や文化の活力がみなぎった地域が、あたかも一つの都市のように機能する、大交流リニア都市圏の誕生が期待されている。

中部国際空港セントレアは、そのポテンシャルをさらに発揮できるよう、2本目の滑走路が切望されており、国の空港関係予算に、中部圏の空港のあり方などに対する予算計上がなされたと同っている。

また、「仮称・中部国際空港を核とした知多地域振興協議会」を組織し、セントレアを核とした国内外に広く発信できる組織づくりが検討されている。

当町においては、知多武豊駅東土地区画整理事業の進捗に合わせ、名鉄武豊駅とJR武豊駅をつなぐ武豊港線の整備、さらに地域交流センターまでを結ぶ散策ルートへの整備など、広域的な機能を持つことが重要である。

町のIT改革について

問 4月から6部制に移行することから、新たな情報共有化のIT改革はあるか。

答 総務部長 従前からグループウェアを利用し、職員のスケジュール管理、公用車・会議室の予約、メールインフォメーション（掲示板）などで情報の共有化を図っており、6部制移行に伴う新たなIT改革はないが、より利便性の高い業務が行

えると考えている。

ホームページは今や「まちの顔」

問 転入される方など初めての方がホームページを見て、知りたい情報が体系的に整理され分かり易くなっていることが基本である。当町のホームページは分かり難いとの声があることから刷新の計画はあるか。

答 総務部長 現在のホームページは標準パッケージを導入しており、安価で各課がリアルタイムな情報発信を行え、情報の鮮度ではメリットを生みだしているが、画面構成、画面展開においては大きな変更を加えることはできず、苦慮している。より分かりやすく、最新の情報を住民へ提供できるように、刷新を検討したい。



■夢のプロジェクト リニア中央新幹線



日本共産党議員団
梶田 稔 議員

戦没者慰霊碑の 管理・運営は町で

町が責任を持ち遺族会に委託

町内の戦没者慰霊碑
260基267人

問 今年は戦後70周年の節目の年。改めて、「二度と戦争してはならない」と不戦の誓いを新たにしなければならぬ。

私は、昨年から町内の戦没者慰霊碑の調査をし、8箇所の墓地等に計260基267人の慰霊碑が祀られていることがわかった。

毎年秋、遺族会のみなさんが主催し町が共催する形で戦没者追悼式が厳粛に執り行われているが、節目の年に因んで戦没者追悼式を町主催で開催されたい。

答 町長 遺族会のみなさんと話し合ってきた。

その結果、今年から町主催で戦没者追悼式を執り行うことで合意した。

問 ご遺族のみなさんも高齢化して、慰霊碑への参りも思うに任せない方もみえる。

供花や敷地内の除草・清

掃など、慰霊碑の管理・運営も町が主体ですめるようにしてもらいたい。

答 厚生部長 遺族会への補助は今後も続け、その中でシルバー人材センターなどの協力を得て清掃・整備を進めるように考えている。

国保税を1世帯当たり
1万円の引き下げを

長引く不況の中で、住民の暮らしや営業が厳しさを増している。

家計支援の一環として、次の3点を求めたい。

- ① 国保会計は、毎年、600万円前後の黒字を出しており、1世帯当たり1万円の引き下げは可能である。
- ② 子ども医療費を高校卒業(18歳)まで無料にして
- ③ 自治体が増えてきている。

本町も、ぜひ、高校卒業(18歳)まで無料にされたい。3000万円あまりの予算で実現可能である。



る。

③ 保育料は、同時入所の場合、第2子半額・第3子以降無料となっている。

南知多町が平成24年度から第2子以降無料化しており、美浜町も平成27年度から3歳児以上を無料化する予算を計上した。

本町でも、第2子以降無料化されたい。

およそ2500万円の予算で実施可能である。

県内でも全国的にも、健

全財政を維持し、豊かな財政を誇る本町なら実施可能である。

答 厚生部長 福祉施策には大いに力を入れている。

提案の施策を実施すると恒常的な財源が必要となり、現時点では実施する考えはもっていない。

※他に「学校給食広域化協議の中止・撤退を求める」の質問。



情熱
南 賢治 議員

問 歳入アップの努力目標は

答 「創生総合戦略」を活用

歳入の柱でもある町税は平成26年度当初予算比0・3%減、74億3030万円と発表された。

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を積極的に策定

問 歳入アップについてはどのように努力をしていく予定か。

答 町長 財源確保は、将来にわたり大きな課題である。平成27年度は、電力売払代金、普通財産の未利用地売却益、資源物売却益や武豊町広告掲載要綱に基づくホームページ、広報たけとよ、コミュニティバスにおける広告掲載などとコンビニ収納における収納率の向上を図っていく。

また、ふるさと納税についても調査研究していく。消滅自治体が叫ばれている中、平成27年度本町では、将来に向けた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を積極的に策定し、持続可能な行政経営に努めていく。

問 歳出の抑制によって後回しとなったり、大きく予算を削られた事業は何か。

答 総務部長 総務部では、庁舎建設基金の縮減、道路照明灯などの整備工事などを先送りした。

厚生部では、北保育園の空調機器改修工事、緑小児童クラブ新築工事実施設計委託、北山大気測定局の窒素酸化物測定装置の更新を先送りにした。

産業建設部では、鹿狩池公園の水質・生物活性化装置設置工事、田平井公園・祠峯公園のソーラー外灯工事を先送りした。

教育委員会関係では、衣浦小学校プール修繕工事、緑丘小校舎外壁等改修工事、町民会館輝きホール舞台機構吊物シーケンサユニット交換工事などを先送りした。

問 知多武豊駅東土地区画整理事業の事業費および補助金、わが町の負担分は。

答 総務部長 事業計画全体の総事業費は、20億3000万円、そのうち国の補助金が4億8500万円、県の公共管理者負担金が4億7900万円、町の負担は10億6600万円である。事業の完了は、平成32年度を予定している。

事業費は、約6億1000万円。内訳は、国の補助金が、約2億2300万円、県の負担金が、約1億4300万円、町の負担が、約2億4300万円を予定している。

プール事業においては、27年度、民間導入可能性調査業務委託料を440万円も計上している。ぜひ、公民連携でやっていただきたい。



■屋内温水プール建設予定地